

●村川家文書32

- 一 先祖之者義
権現様御由緒之事
- 一 台徳院様御代元和
年中竹島渡海被仰付
候事
- 一 台徳院様已来
御代々様へ獨
御目見被仰付御紋之
時服其外拝頂被為仰付候事
- 一 殿様独御目見被為
仰付其外拝頂被為仰付候事
- 一 江戸表へ極年ニ参勤
奉申上候儀勝手向難渋
仕候ニ付五七年ニ忝度ツゝ
参勤奉申上たるを御歎申上候
- 一 松平伯耆守様より
格別之思召ヲ以
新太郎様へ御憐愍
之義御執成被為遣■入割候事
- 一 新太郎様御代
御米十俵無利ニて
拝借被為仰付一■
御上納奉申上候事
- 一 当御代々様へ相成
候而茂右御米拝借
被為仰付御上納■■事
被為遊
- 一 其後御簡略ニ付右
御米拝借忤被為仰付候ニ付
又々御歎申上候儀延宝
三年塩口錢被為仰付候事
- 一 元禄年中不慮之義
ニ付竹島渡海制禁
被為仰出候事

一 江戸表へ罷越御憐愍

之 ■■奉歎候事

一 猶々「 二付

御「 方茂

中絶仕別而者

殿様御目見之義も

只今又中絶候事

(了)